

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月26日更新

事務事業名		保育所地域活動等助成事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	健康福祉部	課長名 中嶋 万喜
	施策	19 子どもを見守り、育てる地域づくり				所属課	子育て支援課	担当者名 毛利 一生
	基本事業	58 地域における子育て支援				所属班	子ども保育班	(内線) 2316
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 3	事業連番 10592	法令根拠	次世代育成支援対策交付金交付要綱合志市特別保育事業費等補助金 交付	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<p>学童クラブがない小学校に在籍している低学年児童に対して、地域の保育所にて学校終了後の児童預かりを行っている場合に事業費の一部を保育所へ補助金として助成する。</p> <p>小学校低学年預かり事業のほか、育児講座、世代間交流事業、保育所体験事業等を実施し、一定の成果を得ていたが、申請する保育園が増えないため(平成20・21年度ともに2園のみ)、育児講座、世代間交流事業、保育所体験事業については、平成21年度をもって廃止した。</p> <p>ただし、補助金の申請はされないが、実際は地域活動を実施されている保育園も存在している。</p>
【業務の流れ】	<p>【保育所から市への流れ】①補助金の交付申請、②交付決定通知、③事業の実施、④変更交付申請、⑤変更交付決定通知、⑥実績報告、⑦交付確定通知、⑧補助金の請求⑥補助金の支払</p> <p>【市から国への流れ】①補助金の交付申請、②交付決定通知、③事業の実施、④変更交付申請、⑤変更交付決定通知、⑥実績報告、⑦交付確定通知、⑧補助金の請求⑥補助金の支払</p>
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	<p>保育所が行う「低学年児童預かり事業」については、小学校に放課後学童クラブが無い場合や放課後学童クラブが定員で一杯であるなどの場合に非常に助かるとの声がある。現在4園が実施しており、下の子どもが保育園に通園している場合などは特に助かるとの声がある。</p>

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動) (DO)	小学校低学年児童の放課後と夏休み等の長期休みの受入を、4園で実施した。	24年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 園	予算の主な増減の理由
→ ア: 保育所地域活動事業実施保育所(小学校低学年預かり)	イ	平成24年度は1園(西合志南保育園)実施箇所が減るため減額。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	小学校低学年の児童をもつ保護者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 保育所地域活動事業実施保育所(小学校低学年預かり)
		イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・安心して子育てができる。 ・安心して仕事ができる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 保育所地域活動事業実施保育所(小学校低学年預かり)
		イ
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
小学校低学年預かり事業については、実施する保育所数とする。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込		
① 活動指標	ア 園		6	4	4	4	3	3	3	3		
	イ											
	ア 園		6	4	4	4	3	3	3	3		
② 対象指標	イ											
	ア 園		6	4	4	4	3	3	3	3		
	イ											
③ 成果指標	イ											
	ア 園		6	4	4	4	3	3	3	3		
	イ											
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	1,344	993	800	873	600	600	600	600	
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
	(A) 事業費計	一般財源	千円	1,856	1,007	1,200	1,127	900	900	900	900	
		(A) 事業費計	千円	3,200	2,000	2,000	2,000	1,500	1,500	1,500	1,500	
		(A)のうち指定経費	千円	3,200	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人件費	正規職員従事人数	人	0	3	4	3	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	0	35	60	35	60	60	60	60		
	(B) 人件費計	千円	0	144	247	141	247	247	247	247		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,200	2,144	2,247	2,141	1,747	1,747	1,747	1,747		

事務事業名	保育所地域活動等助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	--------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 小学校低学年児童の学校終了後の受入れについては目標を達成した。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 小学校低学年児童の学校終了後の受入れについては、小学校との重複エリアで実施している1園が減るが、昨年同様に実施する園が同じであるため、目標は達成する見込み。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 昨年度までは小学校で行う学童クラブと重なっているエリアがあったため、連携次第で成果向上の余地があったが、今年度からは同エリアの小学校での学童クラブの増設に伴い、重複するエリアについては廃止するため、成果向上の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 保育所地域活動事業のうち小学校低学年預かり事業については、小学校の放課後学童クラブの代替施設としての役割を果たしており、現在は全校区に上記のいずれかの事業を実施している。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 保育所に支払う補助基準額は1名の人件費より、小額の補助となっており、削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 手続きとしては、最低限の事務のため、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 学童保育に関しては、受益者負担で利用料をとっているが、他の事業での地域の交流等の目的の事業のため利用料負担は難しいと思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 事業を実施した私立の認可保育園への補助金の支出であり、行政が直接実施していないため、役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>小学校低学年児童の学校終了後の受入れについては、小学校で行う学童クラブの代替受け入れ先となっており、有効に事業が実施されているといえる。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>本事業は、小学校の放課後学童クラブの代替施設としての役割を果たしており、現在は全校区に上記のいずれかの事業を実施するとともに、利用者からの一定の評価も得ている。平成24年度からは事業が重複するエリアにある小学校での学童クラブの増設に伴い、該当するエリアの適正化を図る予定である。</p> <p>本事業は、今後も小学校の放課後児童クラブの補完的な事業として維持すべきである。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						